

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場会社名 ミサワホーム中国株式会社
 コード番号 1728 URL <http://www.misawa-c.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月5日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 久延 賢次
 (氏名) 倉田 敦

TEL 086-245-3204

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,846	△4.1	△400	—	△417	—	△512	—
23年3月期第1四半期	5,054	△2.1	△392	—	△403	—	△429	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △451百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △445百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△44.44	—
23年3月期第1四半期	△37.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	17,950	4,969	27.7
23年3月期	18,201	5,478	30.1

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 4,969百万円 23年3月期 5,478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,300	0.4	145	15.9	100	26.7	85	66.5	7.38
通期	30,000	2.9	435	9.7	350	3.2	260	2.3	22.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	11,540,180 株	23年3月期	11,540,180 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	17,598 株	23年3月期	16,759 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	11,523,061 株	23年3月期1Q	11,526,130 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 追加情報	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災が甚大な影響を及ぼし、経済活動にも大幅な混乱が見られました。その後は各方面の迅速な復旧努力によって、おもに輸出関連産業を中心として企業収益の改善が見られ、個人消費にも持ち直しの動きが見える一方で、雇用及び所得情勢に本格的な改善が見られず、全国的に波及した電力供給の不安もあいまって、景気の先行きには不透明感が残っております。

住宅業界におきましては、震災により住宅資材の供給に一時的に大きな影響がありましたが、当社グループ（当社及び連結子会社）の営業エリアである中国地区におきましては震災の影響は比較的軽微であり、当第1四半期連結累計期間の新設住宅着工戸数は全体で8千5百戸（前年同期比2.0%増）と回復基調は堅調な動きとなっているものの、主力である持家市場は4千戸（前年同期比3.3%減）と依然持ち直しの動きは弱いものとなっております。

こうした状況の中、当社グループは平成23年2月に策定いたしました「新中期経営計画」の達成に向けて、各地において新商品現場発表会「ウチ・コレ発表会」や「いえ・まちフェスティバル」を開催するなどの積極的に販売促進活動を行うとともに、環境配慮の一環として太陽光発電住宅の促進のための「ECOな暮らし応援」や既存住宅向けの「リフォーム資金330万プレゼント」のキャンペーンを開催し、受注拡大に向けた取組みを推進してまいりました。

また、「MRDフォーラム」を開催し、地元の不動産会社との提携を再強化するための活動にも注力してまいりました。

これらの活動の結果、当連結会計年度の業績は売上高は4,846百万円（前年同期比4.1%減）、営業損失は400百万円（前年同期は392百万円の営業損失）、経常損失は417百万円（前年同期は403百万円の経常損失）、四半期純損失は512百万円（前年同期は429百万円の四半期純損失）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

①住宅請負事業

住宅請負事業部門の売上は、戸建住宅（木質、鉄骨、M J - w o o d）と、賃貸用のアパート等の請負によるものであります。

当第1四半期連結累計期間は、東日本大震災の影響により住宅部材調達に混乱がありましたことから、減収・減益となりました。

この結果、売上高は2,111百万円（前年同期比25.1%減）、セグメント損失は187百万円（前年同期は265百万円の損失）となりました。

②分譲事業

分譲事業部門の売上は、建売分譲住宅、住宅用地の販売及び中古再生事業によるものであります。当第1四半期連結累計期間は、ニーズの高い30歳前後の子育てファミリー向け分譲住宅に積極的に取り組むとともに、中古再生事業を戦略事業と位置づけて拡大を図りましたこと等により、増収となりましたが、経費の増加等により減益となりました。

この結果、売上高は1,490百万円（前年同期比28.1%増）、セグメント損失は47百万円（前年同期は9百万円の損失）となりました。

③ホームイング事業

ホームイング事業部門の売上は、増改築、インテリア、エクステリアなどの請負によるものであります。当第1四半期連結累計期間は、人員の増強を実施し、エコリフォーム（太陽光発電、断熱、省エネ家電等）を中心としたキャンペーン展開などにより、増収となりましたが、経費の増加等により減益となりました。

この結果、売上高は984百万円（前年同期比16.3%増）、セグメント利益は31百万円（前年同期比21.0%減）となりました。

④その他事業

その他事業部門の売上は、借上アパートの転貸による家賃収入や不動産の仲介料収入及び損害保険の代理店収入などによるものであります。当第1四半期連結累計期間は、仲介料収入の増加などにより、増収となりましたが、経費の増加等により減益となりました。

この結果、売上高は258百万円（前年同期比15.1%増）、セグメント損失は33百万円（前年同期は11百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の資産は前期末と比較して251百万円減少しました。これは主に未成工事支出金・未成分譲支出金が合わせて896百万円、その他の流動資産が263百万円それぞれ増加し、一方で現金預金・分譲土地建物と投資その他の資産が合わせて1,414百万円減少したことによるものであります。

負債は、買掛金・工事未払金等の仕入債務が839百万円、引当金が168百万円それぞれ減少する一方、未成工事受入金が882百万円、長期借入金金が391百万円それぞれ増加したこと等により、前期末と比較して258百万円増加しました。

純資産は、主に利益剰余金の減少により、前期末と比較して509百万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、平成24年3月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成23年5月13日発表の平成23年3月期決算短信の予想数値から変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	3,327,949	2,563,844
完成工事未収入金	120,752	122,339
売掛金	2,053	1,548
分譲土地建物	5,888,563	5,491,989
未成工事支出金	1,179,497	1,942,908
未成分譲支出金	1,139,187	1,272,113
貯蔵品	6,613	5,852
その他	655,233	918,341
貸倒引当金	△11,710	△2,454
流動資産合計	12,308,140	12,316,482
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	784,439	771,634
土地	3,814,026	3,910,821
その他（純額）	112,276	24,798
有形固定資産合計	4,710,742	4,707,254
無形固定資産	51,530	49,561
投資その他の資産		
その他	1,157,089	903,105
貸倒引当金	△26,392	△26,373
投資その他の資産合計	1,130,696	876,731
固定資産合計	5,892,968	5,633,547
資産合計	18,201,109	17,950,030

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,581,058	1,210,924
工事未払金	1,286,895	817,709
分譲事業未払金	58,483	40,730
短期借入金	4,874,750	4,884,092
未払法人税等	39,106	5,279
未成工事受入金	1,765,279	2,647,439
引当金	365,372	197,175
その他	936,907	975,702
流動負債合計	10,907,854	10,779,052
固定負債		
長期借入金	1,079,600	1,470,608
退職給付引当金	351,833	368,626
役員退職慰労引当金	59,500	47,050
その他	323,391	314,982
固定負債合計	1,814,325	2,201,267
負債合計	12,722,180	12,980,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,369,850	1,369,850
資本剰余金	886,598	886,598
利益剰余金	3,276,004	2,706,189
自己株式	△3,768	△3,948
株主資本合計	5,528,684	4,958,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△49,755	11,022
その他の包括利益累計額合計	△49,755	11,022
純資産合計	5,478,928	4,969,711
負債純資産合計	18,201,109	17,950,030

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	5,054,896	4,846,068
売上原価	4,180,047	3,937,819
売上総利益	874,848	908,249
販売費及び一般管理費	1,267,644	1,309,192
営業損失(△)	△392,796	△400,943
営業外収益		
受取利息	7,569	4,476
受取配当金	2,910	2,870
受取手数料	2,846	5,007
その他	7,662	6,750
営業外収益合計	20,989	19,104
営業外費用		
支払利息	29,586	27,546
和解金	272	7,847
その他	1,516	171
営業外費用合計	31,375	35,566
経常損失(△)	△403,182	△417,405
特別利益		
貸倒引当金戻入額	18,234	—
特別利益合計	18,234	—
特別損失		
固定資産除却損	—	5
投資有価証券評価損	2,302	84,364
ゴルフ会員権評価損	1,583	708
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	29,375	—
特別損失合計	33,262	85,078
税金等調整前四半期純損失(△)	△418,210	△502,483
法人税、住民税及び事業税	4,396	4,367
法人税等調整額	6,667	5,346
法人税等合計	11,063	9,714
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△429,274	△512,198
四半期純損失(△)	△429,274	△512,198

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△429,274	△512,198
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△16,152	60,777
その他の包括利益合計	△16,152	60,777
四半期包括利益	△445,426	△451,420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△445,426	△451,420

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	住宅請負事 業	分譲事業	ホームイン グ事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	2,819,136	1,163,923	846,830	225,006	5,054,896	—	5,054,896
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,508	—	—	119	4,628	△4,628	—
計	2,823,644	1,163,923	846,830	225,125	5,059,524	△4,628	5,054,896
セグメント利益または セグメント損失(△)	△265,928	△9,099	40,141	△11,979	△246,866	△145,929	△392,796

(注) 1. セグメント利益の調整額△145,929千円には、セグメント間取引消去△4,628千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△141,301千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本部所属の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	住宅請負事 業	分譲事業	ホームイン グ事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	2,111,879	1,490,658	984,570	258,961	4,846,068	—	4,846,068
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	142,647	284	142,932	△142,932	—
計	2,111,879	1,490,658	1,127,218	259,245	4,989,001	△142,932	4,846,068
セグメント利益または セグメント損失(△)	△187,559	△47,116	31,728	△33,833	△236,781	△164,162	△400,943

(注) 1. セグメント利益の調整額△164,162千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本部所属の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当社グループでは、生産実績を定義することが困難であるため、「生産実績」は記載を省略しております。

②受注状況

当第1四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)			
	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
住宅請負事業	4,418,287	101.3	10,955,042	131.5
分譲事業	1,508,940	83.7	1,299,171	107.0
ホームイング事業	984,570	116.3	—	—
その他事業	258,961	115.1	—	—
合計	7,170,759	99.1	12,254,214	128.4

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 前期以前に受注した工事で請負金額が変更となったものについては、受注高にその増減を含めております。

3. ホームイング事業及びその他事業については、施工期間が短く繰越工事量が少ないため、受注高は販売実績により表示しており、受注残高については表示しておりません。

③販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	前年同四半期比 (%)
住宅請負事業 (千円)	2,111,879	74.9
分譲事業 (千円)	1,490,658	128.1
ホームイング事業 (千円)	984,570	116.3
その他事業 (千円)	258,961	115.1
合計 (千円)	4,846,068	95.9

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

3. 当社グループの属する住宅業界における季節的要因として、新学期・新年度を控えた2～3月度に売上が集中する傾向があります。これにより第1四半期の売上高は、他の四半期に比べ相対的に低い水準となっております。